

道徳通信かがわ

第21号

平成28年12月15日(木)

香川県教育委員会事務局

義務教育課

道徳科
への道

道徳科の「^{ぎもん}？」にお答えします。(評価編)

Q1 道徳科の評価の在り方について「個々の内容項目ではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価」の記述がありますが、具体的にはどのようなことですか？

A. 道徳科には、小学校低学年で19、中学年で20、高学年と中学校では22の内容項目があります。道徳科の評価は、その一つ一つの内容項目ごとに、その内容項目についてどのくらい理解したかということの評価するものではありません。「道徳的な価値について多面的・多角的に考えることができるようになったか」や、「道徳的価値を自分自身との関わりで深めようとしたか」といったことを、学期や学年などの一定のまとまりの中で、道徳科の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、評価するというを示したものです。なお、一定のまとまりの中で評価した結果として、特に顕著と認められる点が発揮された内容項目に係る授業について、評価の中で触れるということは考えられます。

Q2 児童生徒が一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうかを見取るには、どのようにすればよいですか？

A. 例えば、道徳的な問題に対する判断の根拠やその時の心情を様々な視点から捉え考えようとしていることや、自分と違う意見や立場を理解しようとしていること、複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしていること等を、発言や感想文や質問紙の記述等から見取るという方法が考えられます。

また、「道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか」という点についても、例えば、読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしていることに着目したり、自らの生活や考えを見直していることがうかがえる部分に着目したりするという視点も考えられます。

ここに挙げた視点はいずれについても例示です。指導する教師一人一人が、質の高い多様な指導方法へと指導の改善を行い、学習意欲の向上に生かすようにするという道徳科の評価の趣旨を理解したうえで、学校の状況や児童生徒一人一人の状況を踏まえた評価を工夫することが大切です。



道徳羅針盤 いじめに正面から向き合う「考え、議論する道徳」への転換に向けて（大臣メッセージ）

平成 28 年 11 月 18 日に、文部科学大臣より「いじめに正面から向き合う「考え、議論する道徳」への転換に向けて」というメッセージが示されました。

「11 月 2 日、いじめ防止対策協議会から、いじめの防止等の対策に係る提言をいただきました。文部科学省は、これに沿った取組を様々な角度から総合的に進めてまいります。その中でも、私は特に、平成 30 年度から全面実施となる「特別の教科 道徳」の充実が、いじめの防止に向けて大変重要であると思っています。」（一部を引用）

詳しい内容については以下のアドレスをご参照ください。

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/11/1379623.htm

Q3 学校教育全体で行う道徳教育の評価と、道徳科における評価の関係はどのようになるのですか？ なぜ、一緒ではいけないのですか？

A. 「学校教育全体で行う道徳教育の評価」は、これまでどおり、「行動の記録」の一つの要素としての位置づけになります。*

道徳科の評価については、道徳科の授業において見られる、児童生徒の学習状況及び、道徳性に係る成長の様子を、個人内評価として文章で記述するものです。

「行動の記録」は道徳に限らず、児童生徒の具体的な行動に表れたことを見るものであり、どのような指導の結果、その行動に至ったかを評価するものではありません。

* 「行動の記録」等の具体的な在り方については、学習指導要領全体の改訂における教育課程の構造の中で整理・検討することになります。

学習評価の整理

目標に準拠した評価

・ 学習指導要領に示す目標に照らしてその実現の状況を見る評価

〔 絶対評価とも言われてきた。平成 22 年教育課程部会まとめ以降、絶対評価という表現を文部科学省では使用していない。 〕

・ 平成 12 年要録通知以降は、観点別学習状況の評価と評定の両方を、目標に準拠した評価として実施。

集団に準拠した評価

・ 学級又は学年における位置づけを見る評価

・ 相対評価とも言われる。平成 12 年要録通知以降は、目標に準拠した評価に改められたが、必要に応じて「総合所見及び指導上参考になる諸事項」欄に、集団の中での相対的な位置付けについて記載することができることとしている。

個人内評価

・ 観点別学習状況の評価や評定には示しきれない子どもたち一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するもの

・ 従来の指導要録では「総合所見及び指導上参考になる諸事項」において示される。

道徳科は個人内評価で行います！

